

ヤマトプロテック株式会社

ビル防災設備 プラント防災設備 避難警報設備 各種消火器

本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.03-3446-7151(代)・FAX.03-3446-7160
大阪事業所 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.06-6976-0701(代)・FAX.06-6976-0802
名古屋支社 〒462-0032 名古屋市北区辻町5-58 TEL.052-914-2381・FAX.052-914-2435
札幌支店 〒065-0027 札幌市東区北27条東19丁目1-1 TEL.011-780-1700・FAX.011-780-1701
仙台支店 〒984-0012 仙台市若林区六丁の目中町6-1 TEL.022-287-9531・FAX.022-287-9534
さいたま支店 〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-68 TEL.048-652-1345・FAX.048-652-1321
横浜支店 〒240-0052 横浜市保土ヶ谷区西谷町695 TEL.045-381-5526・FAX.045-381-5589
静岡営業所 〒422-8005 静岡市駿河区池田231-1 TEL.054-263-0119・FAX.054-262-7741
広島支店 〒733-0005 広島市西区三滝町7-4 TEL.082-237-4625・FAX.082-239-3859
松山営業所 〒791-1102 松山市来住町1477-1 TEL.089-956-2101・FAX.089-956-1310
福岡支店 〒816-0093 福岡市博多区那珂5-7-12 TEL.092-411-4224・FAX.092-411-4229
大阪工場 〒587-0042 大阪府堺市美原町木材通2-2-38 TEL.072-361-5911・FAX.072-361-6370
中央研究所 〒300-1312 茨城県稲敷郡河内町長竿道前1951 TEL.0297-84-4711・FAX.0297-84-4712
東京物流センター 〒136-0075 東京都江東区新砂1-13-9 TEL.03-5677-1497・FAX.03-5677-1498
リサイクルセンター 〒587-0042 大阪府堺市美原町木材通2-2-38 TEL.072-361-7518・FAX.072-361-7519

●この商品についてのお問い合わせは、
ご購入の販売店または当社ナビダイヤルへ……

▶ナビダイヤル



0570-080100 *お客様相談窓口
受付時間・平日9:00～17:00(土・日・祝・祭日を除く)

※本書に掲載した商品は改良などのため、予告なく規格・仕様変更等を行うことがありますので、ご了承ください。

0511-1



*説明書は必ず読んでください。
*いつでも読めるところに保管してください。

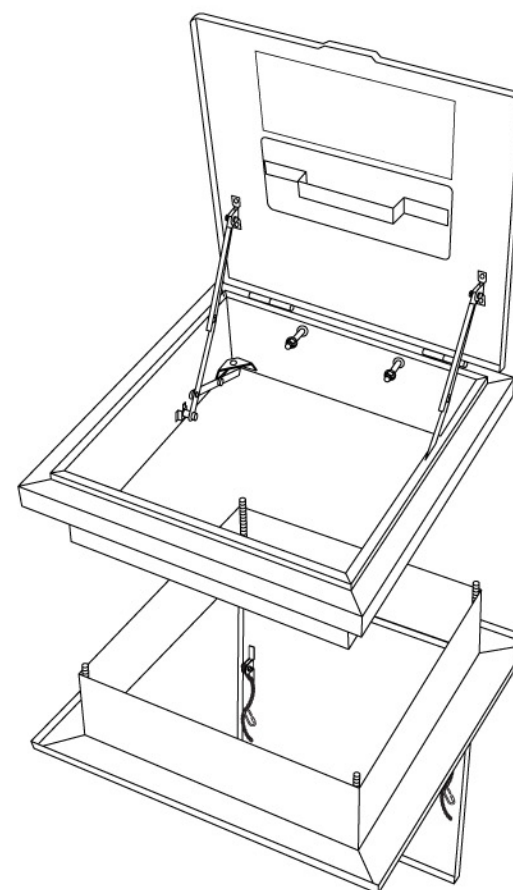
非常用避難口・改修用レクスター(RKB)

施工要領書

■対象器種■

[レクスター]

REXTER RKB-type



- 「RKB型」はフランジ固定式ステンレス製(改修用)ハッチです。
- この施工要領書は既存ハッチの取り外し手順から「ステンレス製 改修用レクスター(RKB型)」の取り付け、組み立て手順について説明しております。
- この施工要領書をよく読み、正しくお取り付けください。
- また、施工にあたっては周囲の安全を十分に確認の上実施してください。

ヤマトプロテック株式会社

Contents

■使用工具・部品等一覧	2
■「非常用避難口」取替工事における確認事項及び注意事項	3
■「非常用避難口」取替工事における居住者への注意・依頼事項	4
■レクスターREC型（既存）の概要図	5
■既存ハッチ（旧型）の取り外し方法	6
1・はしごの取り外し	6
2・部品落下防止処理	7
3・リンク装置と上蓋の取り外し（左右同様）	7
4・既存枠部品の切り離し	8
5・錆取りおよび清掃	9
6・下蓋の取り外し	9
7・錆止め塗装仕上げ	10
■改修用レクスター RKB型の概要図	11
■改修用レクスター RKB型の取付方法	12
■梱包部品の確認	12
1・解体作業	12
2・上枠の取り付け	13
3・下枠の取り付け-1	14
4・下枠の取り付け-2	15
5・下蓋の開閉調整	16
6・はしごの取り付け	17
7・はしご及び各部の点検	18
8・防水処理	19
9・清掃	20
■取付要領施工例	21
■構造図	24

使用工具・部品等一覧（施工前に用意してください）

	名 称	用 途
1	スパナ:13mm	M8ナットの締め付け用・ラチェット機能付き
2	スパナ:13mm	固定用
3	スパナ:18mm	はしご取付ナットの締め付け用・ラチェット機能付き
4	プラス・マイナス ドライバー	
5	ベントクリッパー	調整用鎖のカット用（ピアノ線φ2mmが切れること）
6	ハンマー	上枠・下枠、および内部部品他、突起物撤去用
7	タガネ	上枠・下枠、および内部部品他、突起物撤去用
8	パール・カッター	上枠・下枠、および内部部品他、突起物撤去用
9	ベビーサンダー（切断用）または切断用ガス具	上枠・下枠、および内部部品他、突起物撤去用
10	ワイヤーブラシ・ペーパーヤスリ・金ヤスリ	錆落とし用
11	水平器	ハッチ水平度確認
12	脚立	下階作業用
13	カワタチ	既存コーキング材撤去用
14	吊り下げ治具	上枠・下枠の仮組み用
15	部品落下防止箱	下階への部品落下防止用
16	下蓋固定具（フック・ロープ）※部品落下防止箱のない場合	下蓋を部品落下防止箱の代替えで使用する際、下蓋を固定する
17	養生シート・ベニヤ板	火花等によるサッシ・ガラスの養生用
18	清掃用具（掃除機・ほうき・チリトリ等）	
19	ゴミ袋	撤去物の廃棄用
20	錆止め塗料およびハケ	錆止め塗装用
21	トーチランプ	コーキングの際にコンクリート表面が湿気を帯びている場合に乾燥させるために使用
22	コーキングガン	コーキング用
23	コーキング材およびコーキングプライマー	コーキング用
24	マスキングテープおよびバックアップ材	コーキング用
25	保護メガネ	
26	保護マスク	

「非常用避難口」取替工事における確認事項及び注意事項

	チェック事項	対 策
1	雨や、洗濯等の水が「非常用避難口」の上枠や外周にしみ込んでないか。	水分でコンクリートが黒色になっている場合、防水コーキングの付が悪いためトーチランプで乾燥させてからプライマー処理、コーキングを行ってください。 また、雨水が吹き込む状態は避けるようにし、天気の状態にも注意してください。
2	作業場周囲に燃えやすい物はないか。 例 ・洗濯物 ・古新聞、雑誌 ・プラスチック製品（バケツ、鉢） ・石油、ガソリン、油、塗料	ガス切断や、サンダー等の火花による引火を防ぐため、安全な所へ移してください。
3	火花の飛び散る範囲にガラス、およびサッシ等はないか。	ガス切断や、サンダー等の火花で汚れたり、破損のないよう、シートまたはベニヤ等で保護してください。
4	居住者（特に子供）に対して、安全のため作業場やケース開口部に近寄らないようお願いをする。	作業中は常に作業範囲内に注意を払い、作業場を離れるときは、開口塞ぎを行い、居住者に伝えて十分に注意するようにしてください。
5	ガスやサンダーの使用時に、作業用として持ち込んだ引火性の強い物は無いかな。 【錆止め塗料・シンナー・プライマー・ウェス】	塗料や溶剤などは、火気を使う作業が終了後、作業場へ持ち込むようにしてください。

「非常用避難口」取替工事における居住者への注意・依頼事項

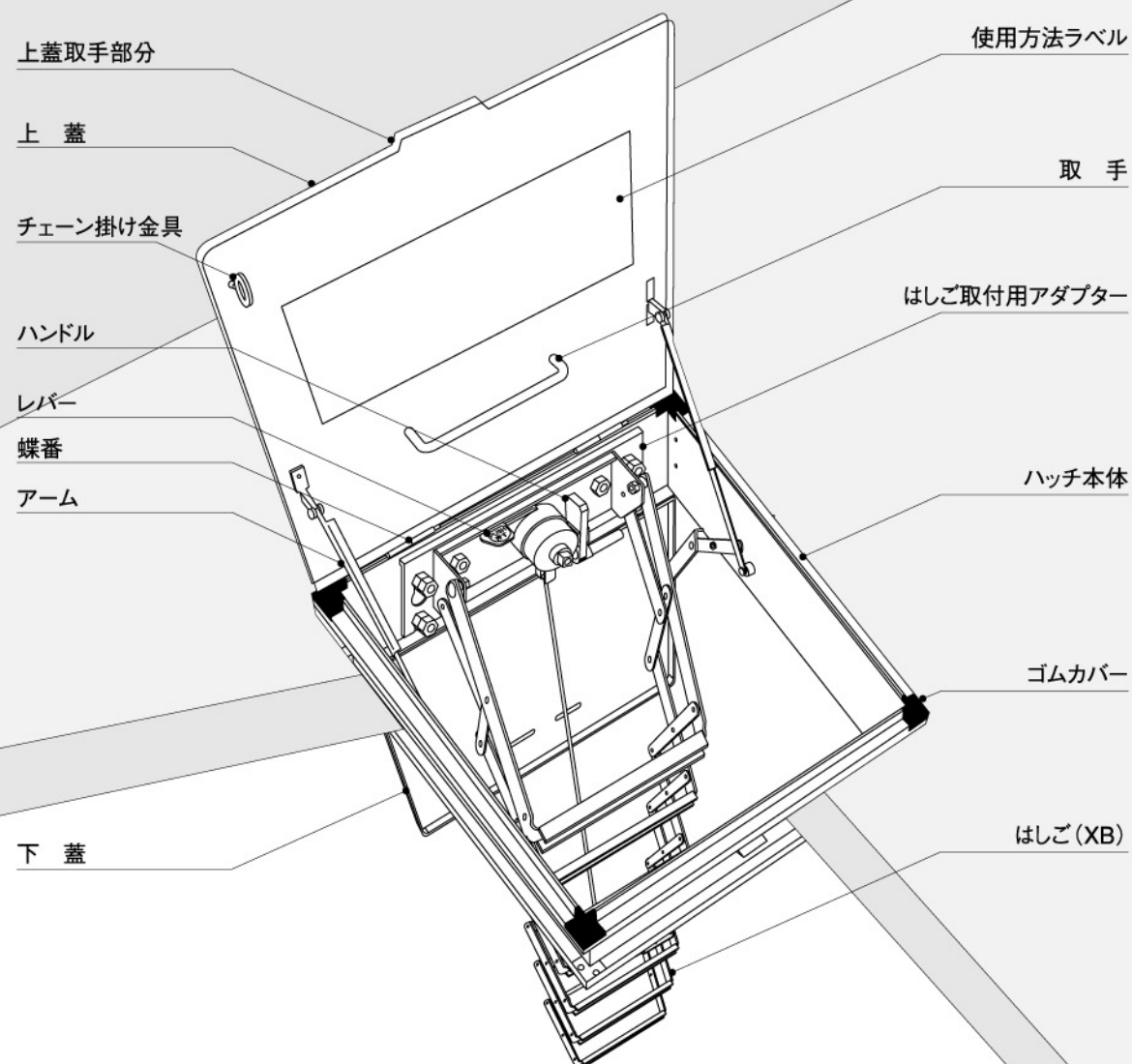


警 告

事前の打ち合わせにて必ず管理者を通じ提示をして下さい。

- 1・「非常用避難口」が取り付けであるベランダおよび階下のベランダへは、室内を通る必要があるので、工事日には事前に在宅をお願いしてください。また、はしごを展張し階下へ降りる事があるので階下の居住者へ、はしごの邪魔になるもの（洗濯機、物干し竿等）を移動してもらう事を事前に伝えてください。
- 2・危険防止のため、作業場やはしごの開口部に近寄らない様にお願いしてください。
（※特に小さな子供のいる家には充分注意を促してください。）
- 3・取替工事で火気を使う場合があり、避難器具の取り付けであるベランダ等に干し物・新聞・雑誌・プラスチック製品（バケツ、鉢、プランター）等は置かない様にしてください。
- 4・掃除や洗濯時の水等が「非常用避難口」に付いていると、防水工事や塗り替え工事に支障をきたすので、施工日の2日前から水の使用を避け乾燥した状態にしておいてください。
- 5・取替工事には電動工具を使用するので、工事中は騒音やほこりが出ることを周辺の居住者へ伝えてください。
- 6・使用電源の許可を得てください。
（※容量が少ない場合はサンダー等の作業に充分注意してください。）
- 7・施工後、コーキングが乾くまで（約1週間）触れないでください。
（※特に洗濯などで、「非常用避難口」に近づく場合は、コーキングの表面が硬化しても内部がまだやわらかい状態にあるので、十分に注意してください。）
- 8・取替えをしたケースはステンレス製であり、優れた耐蝕性がありますが、ほこりやゴミ等の汚れがたまると錆びやすくなるので清潔にしてください。又、錆やすいもの（クギやヘアピン等）をケースの上に置き忘れないでください。

レクスターREC型 (既存) の概要図



既存ハッチ (旧型) の取り外し方法

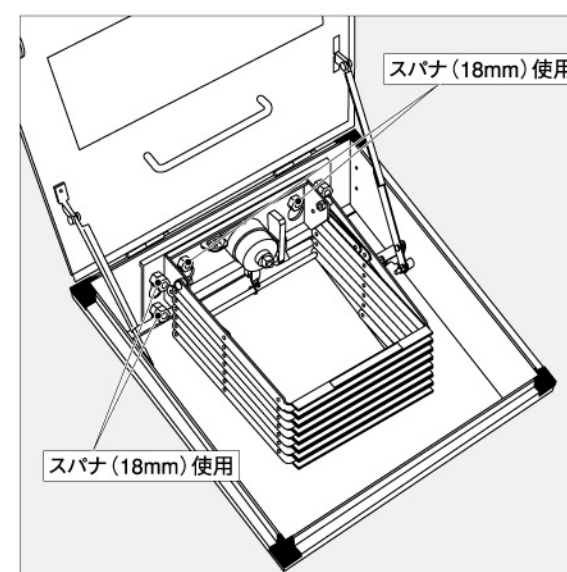
警告

開口部から落下しないよう、十分注意してください。

注意

はしごは重量物なので、注意して扱ってください。

1 はしごの取り外し (施工例 P21・「2」を参照)

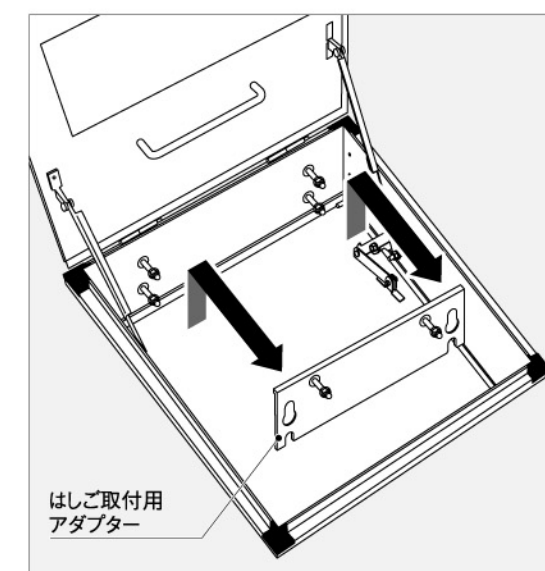
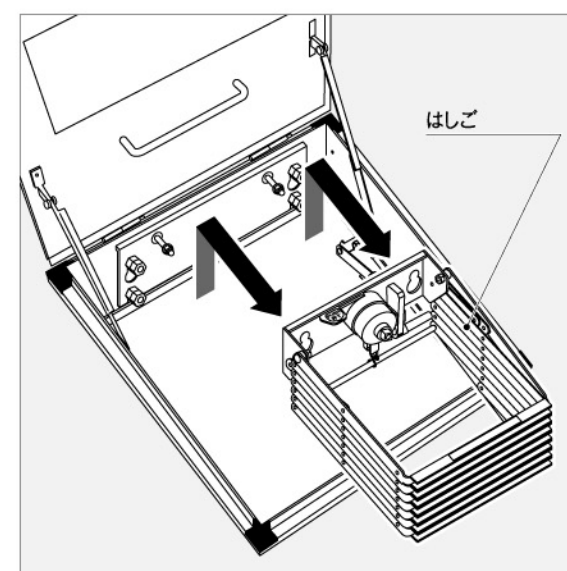


- はしご取り付け部のナットをゆるめてください。
※ 全部ゆるめて外してしまわずに、ナットを残しておいてください。
- はしごを上へすくいあげるようにして、取り外してください。

注意

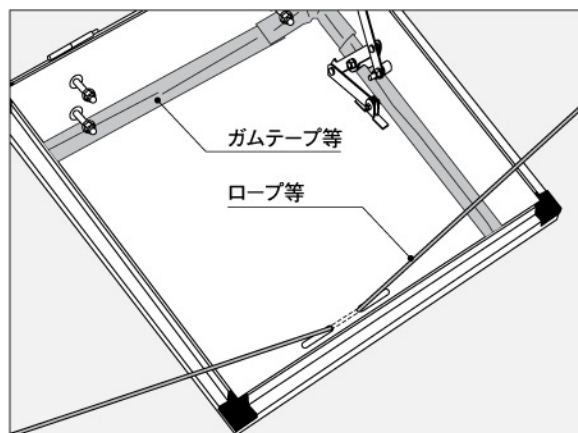
- 誤作動を防止してください。
- 作動レバー等に触れないように注意してください。

- はしご取付用アダプターも同様に上へすくいあげるようにして、取り外してください。



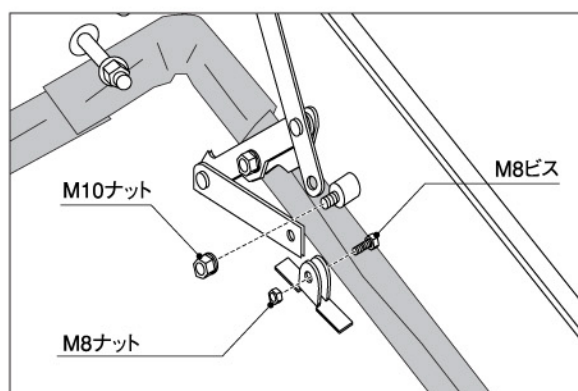
既存ハッチ (旧型) の取り外し方法

2 部品落下防止処理 (施工例 P21・「4」を参照)



- 旧下蓋を部品落下防止のために利用します。
- 下蓋先端部の穴にフックにロープを通して、バルコニーの手すり等に縛り、下蓋を閉じた状態にします。
- 下蓋と枠との隙間をゴムテープ・段ボール等で目張りを行ってください。
※隙間からの切粉・部品等の落下防止のため。

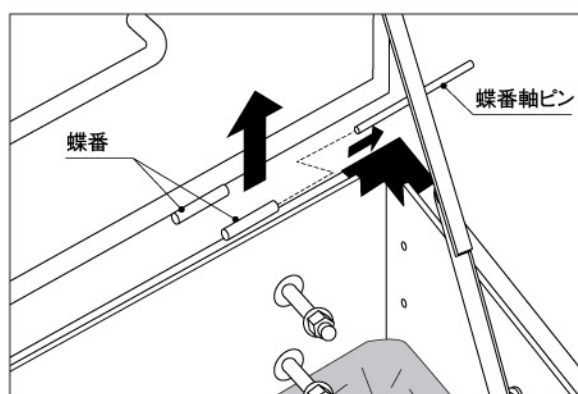
3 リンク装置と上蓋の取り外し (左右同様) (施工例 P21・「3」を参照)



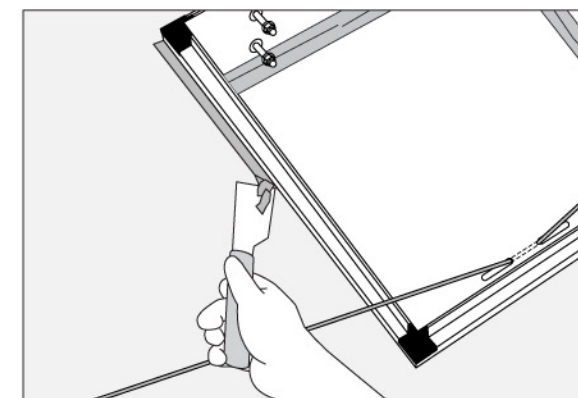
- 枠とリンク装置を接続しているナット (M10) を外してください。
- 続いて下蓋とリンク装置を接続しているビス (M8) とナット (M8) も外してください。
- 枠と上蓋接続部の蝶番軸ピンを抜き、上蓋を取り外してください。
※錆や腐食等で蝶番軸ピンが抜けない場合は、サンダー等で蝶番を直接切断し、上蓋を取り外してください。

⚠ 注意

- 枠からリンク装置を外す時に、上蓋が倒れることがありますので注意して外してください。



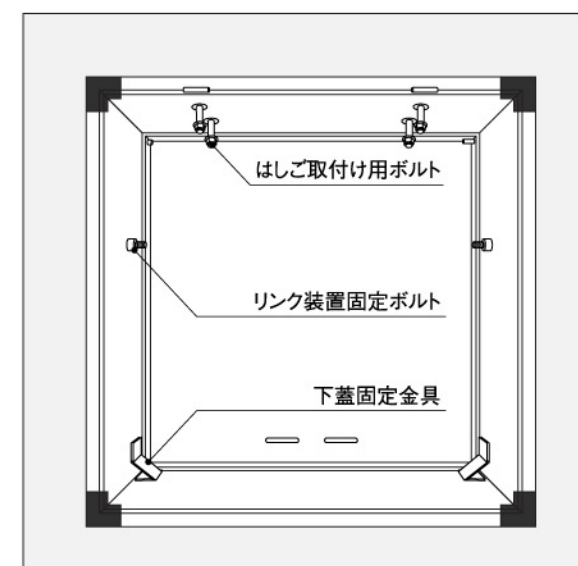
4 既存枠部品の切り離し (施工例 P21・「5」を参照)



- 既存枠のコーキング材を除去してください。

⚠ 注意

- 火災防止のため、既存のコーキング材は必ず除去してから、切断作業を行ってください。



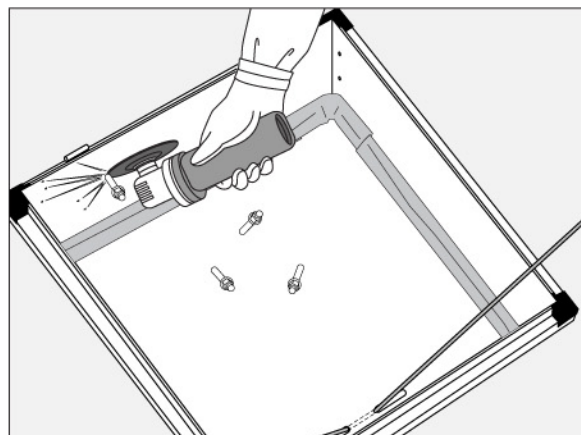
- 左図に示す、はしご取付け用ボルト・下蓋固定金具・リンク装置固定ボルトをサンダーを用い、ハッチ本体より切り離してください。

⚠ 注意

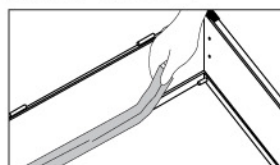
- 切断する場合、必ず作業部の周辺、下階のサッシ・ガラスなどをシート・ベニヤ板等で養生してから作業を行ってください。
- 落下防止のため、無理な姿勢での作業はしないでください。
- ケガ防止のため、保護メガネ・保護マスク・皮手袋を装着し作業を行ってください。
- 特に切断面でケガをする恐れがありますので十分な注意をしてください。
- 切断作業時に発生する、切粉や火花等により、燃えやすい物に引火する恐れがありますので注意してください。

既存ハッチ (旧型) の取り外し方法

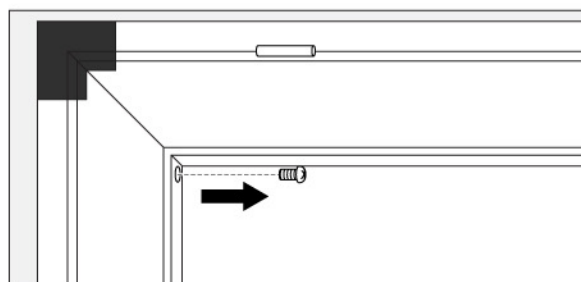
5 錆取りおよび清掃



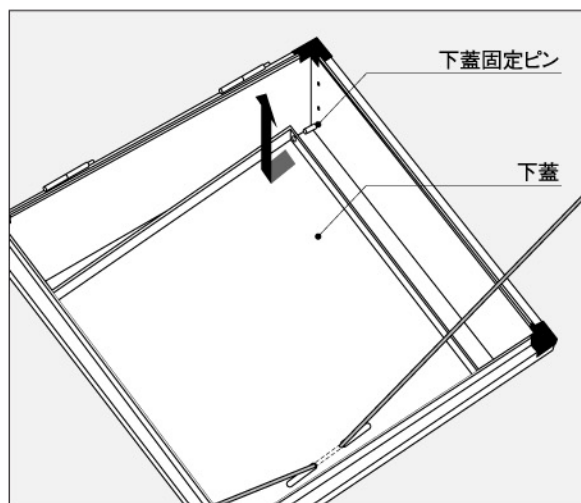
- ワイヤーブラシおよびサンダーを用いて、錆を落としてください。
- 旧塗装表面をサンドペーパー等で荒らしてください。
- 切粉およびゴミの清掃を行ってください。
- 表面荒らし後、シンナー等で脱脂清掃してください。
※下蓋上面の部品・ゴミを清掃してください。



6 下蓋の取り外し



- 下蓋が落下しないようにロープ等で固定した状態のまま、下蓋と枠を留めているネジを外してください。
※錆や腐食等でネジが抜けない場合は、サンダー等でネジを直接切断し、下蓋を取り外してください。
- 下蓋を取り外してください。
※斜めにすると外しやすくなります。
- 枠から突き出ている下蓋固定ピンをサンダー等で、切り離してください。



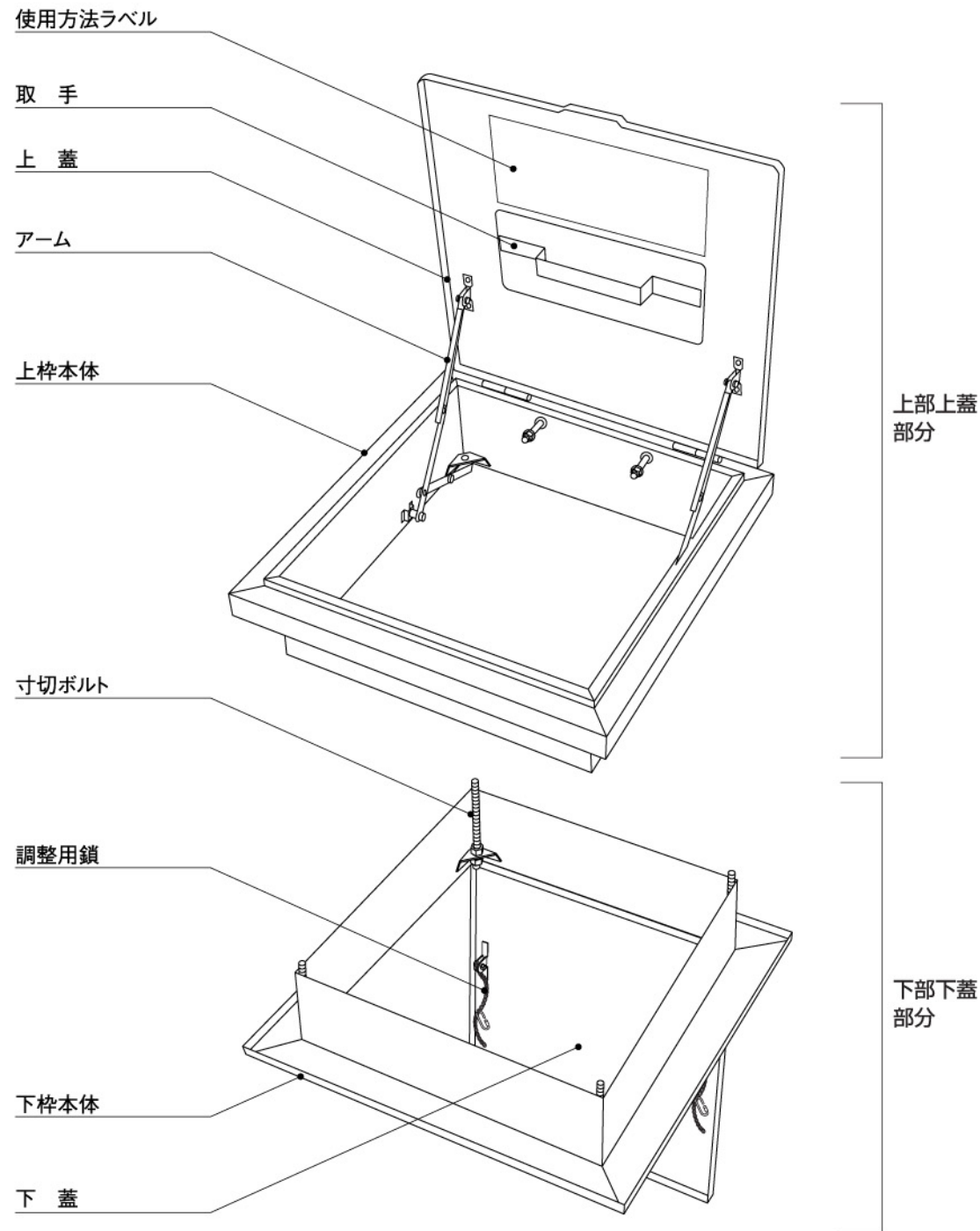
7 錆止め塗装仕上げ (施工例 P21・「6」/ P22・「7」を参照)

⚠ 注意

- 塗装面を充分乾燥した状態にしてから塗装してください。
- 出来るだけ厚く塗り重ねてください。
- 特に切断部、錆を落とした部分は必ず実施してください。
- 作業中は火気を近付けないでください。

改修用レクスター RKB型の概要図

■改修用レクスター RKB型は、下図に示すように上部上蓋部分と下部下蓋部分に大別されます。



改修用レクスター RKB型の取付方法



警 告

開口部から落下しないよう、十分注意してください。



注 意

はしごは重量物なので、注意して扱ってください。

■梱包部品の確認

①上枠(上蓋付き)…………… 1セット ※RKB-710とRKB-680がありますので確認してください。

●RKB-710:外寸710mm×710mm、内寸575mm×575mm

●RKB-680:外寸680mm×680mm、内寸575mm×575mm

②下枠(下蓋付き)…………… 1セット

③使用方法ラベル…………… 1枚

※ヤマトプロテック(株)製はしご(XB型)を取り付けた場合の使用方法ラベルです。他社製はしごを取り付けた場合は使用方法が異なりますので、取り付けたはしごメーカー専用の使用方法ラベルを貼り付けてください。

④寸切りボルト…………… 4本

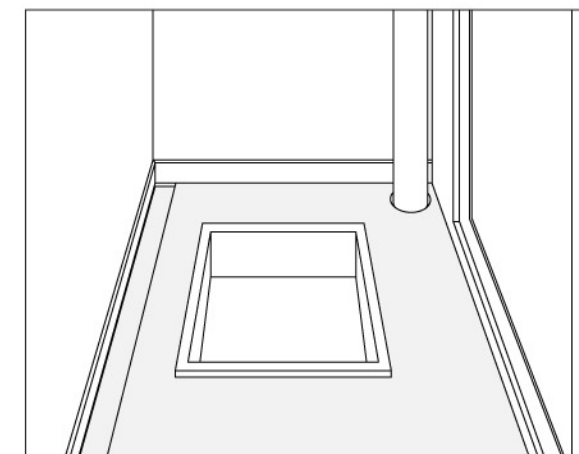
⑤M8ナット…………… 12個

⑥座 金…………… 12個

⑦バネ座金…………… 4個

※④～⑦は下枠の下蓋にテープで固定されたナイロン袋に入った部品です。

1 解体作業(施工例 P21・「1」～P22・「7」を参照)



避難ハッチの改修工事はベランダで行うため、既存ハッチを取り外す作業や取付作業において、建物・付帯設備への汚損防止が必要です。また、作業者は安定した足場および姿勢を確保し、安全な方法で作業を行ってください。

●古くなったハッチの上下蓋・はしご・内部部品などを取り外します。

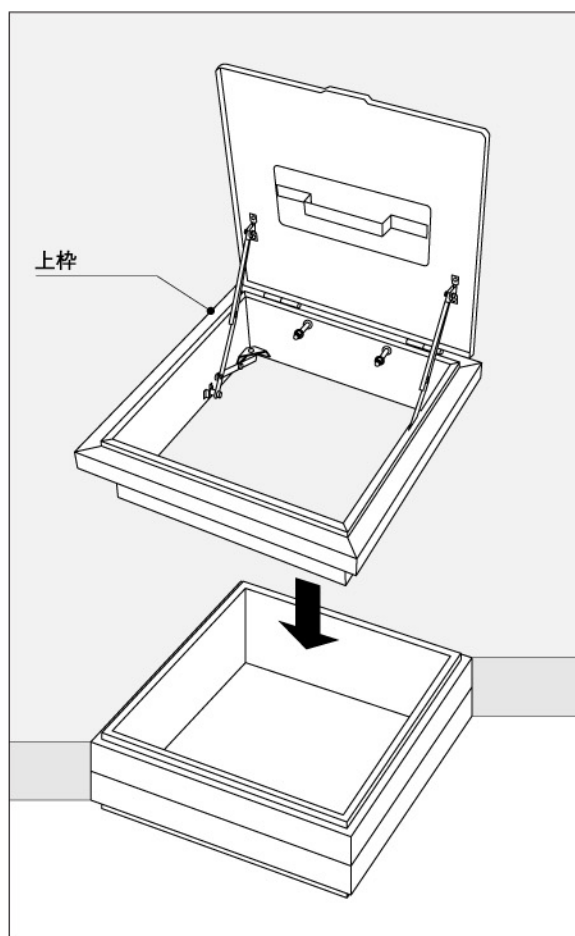


注 意

●下階に解体部品、ゴミなどが落ちないように十分対策を講じてから作業を開始してください。

改修用レクスター RKB型の取付方法

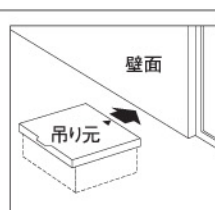
2 上枠の取り付け (施工例 P22・「8」を参照)



●上枠 (上蓋付き) を差し込んでください。

⚠ 注意

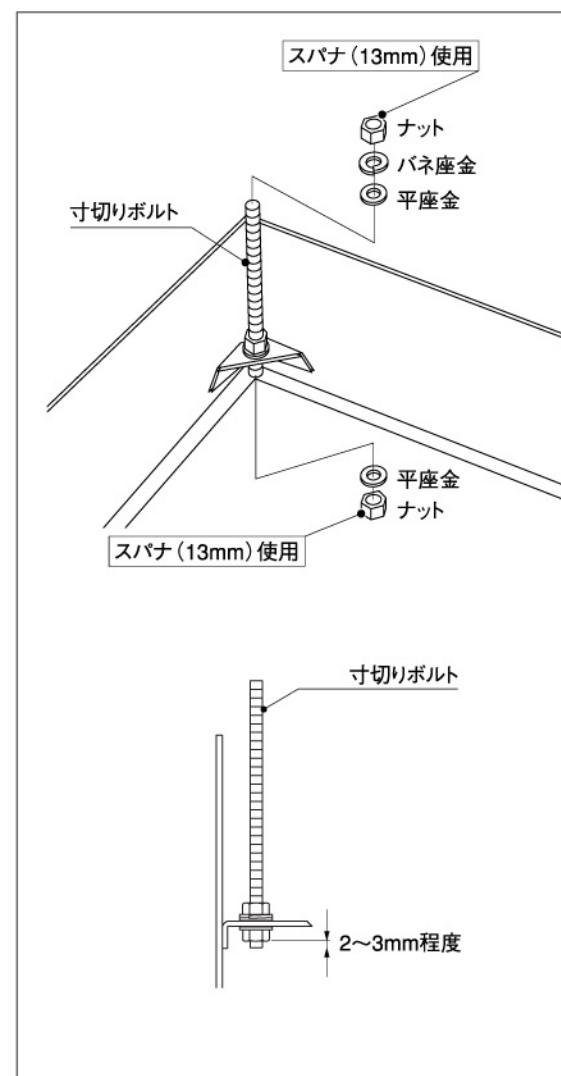
●取付方向 (はしご取付側) を間違えないようにしてください。



ハッチは、はしごの吊り元 (蝶番側) が壁面に (一部地域は除く) 向くように取り付けてください。

所轄の消防により取付方向が異なる場合がありますので、よく確認してください。

3 下枠の取り付け-1 (施工例 P22・「9」を参照)



●下枠 (下蓋付き) 四隅の穴に【左図】の様に寸切りボルト・ナット・座金・バネ座金を入れて、固定してください。

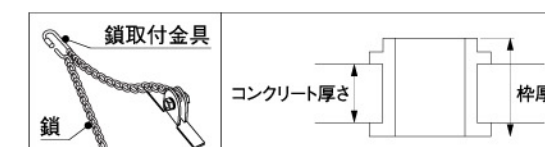
⚠ 注意

●はしご取付側の寸切りボルトの下側はナットの頭部より2~3mmで固定してください。

●下蓋に付いている鎖をコンクリートの厚さに合わせて調整 (鎖取付金具位置は下記参照) してください。

目安としてコンクリート厚さが200mmの場合、固定している鎖の輪より18個目に鎖取付金具を取り付けてください。

(工場出荷時、18個目に取り付けています)

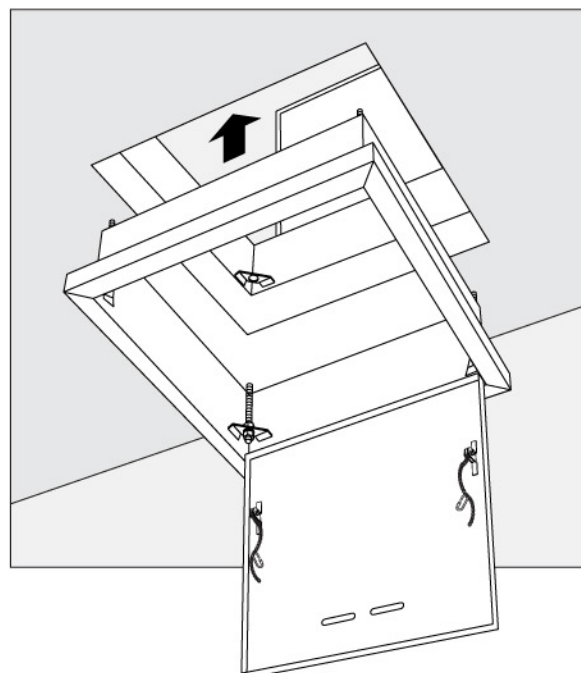


コンクリート厚さと鎖取付金具位置の目安

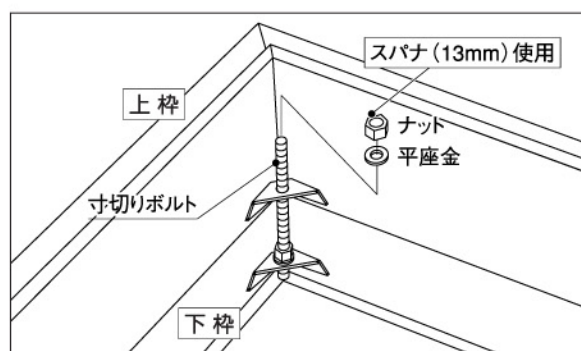
コンクリート厚さ	鎖取付金具位置
170mm	15個目
200mm	18個目 (工場出荷時)
230mm	21個目
250mm	23個目

改修用レクスター RKB型の取付方法

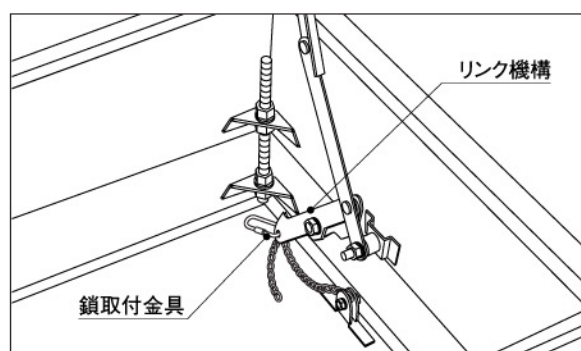
4 下枠の取り付け-2 (施工例 P22・「10」「11」「12」を参照)



- 下枠(下蓋付き)を下階から上枠四隅の穴に寸切りボルトが通る様に差し込んでください。

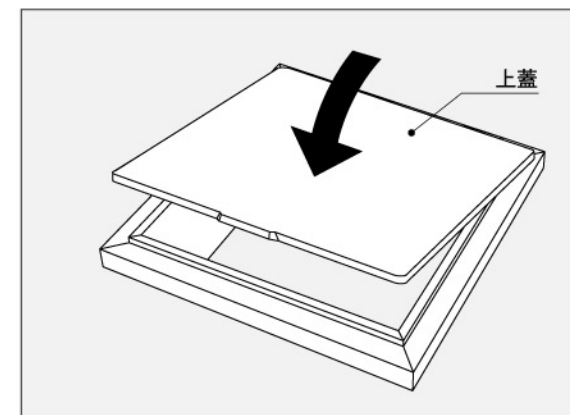


- 【左図】の様に寸切りボルトに座金、ナットを入れ締め付け、固定してください。

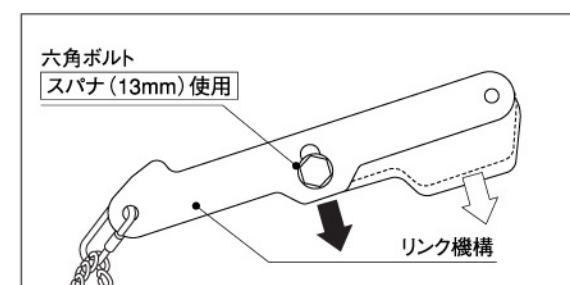
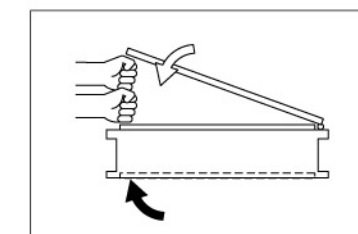


- 鎖取付金具を上枠に固定されたリンク機構の穴に取り付け、ネジを締め固定してください。

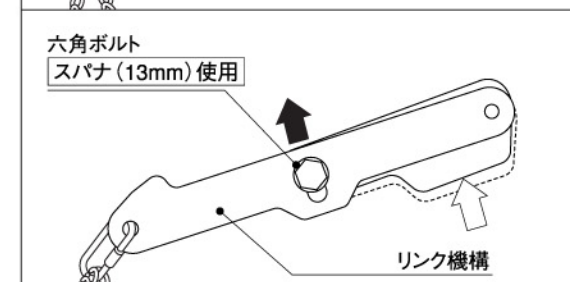
5 下蓋の開閉調整 (施工例 P23・「13」を参照)



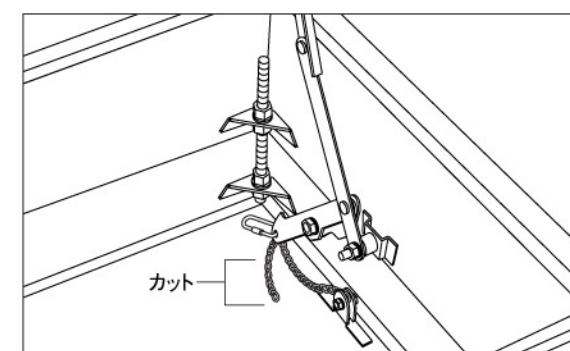
- 上蓋を閉め、【下図】の様にこぶし1～2個分入る隙間を残して下蓋が閉まるように調整してください。



- 上蓋を完全に閉めても下蓋が閉まらない場合。
→六角ボルトを下側にずらし固定。



- こぶしが3個以上入る隙間があるのに下蓋が閉まる場合。
→六角ボルトを上側にずらし固定。



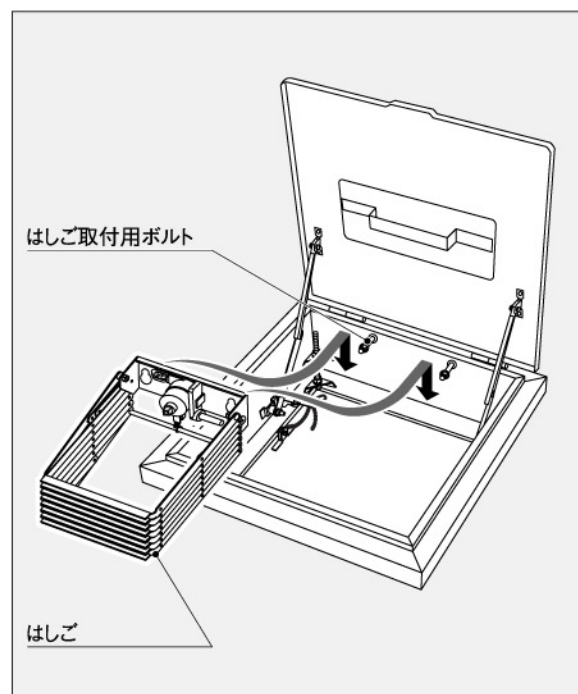
- こぶし1～2個分入る隙間を残して下蓋が閉まるのを確認後、鎖の輪を2～3個残して必ずカットしてください。

⚠ 注意

- 鎖が長すぎると、からまって正常に動作しない場合があります。
- ベントクリッパーを使用すると簡単にカットできます。

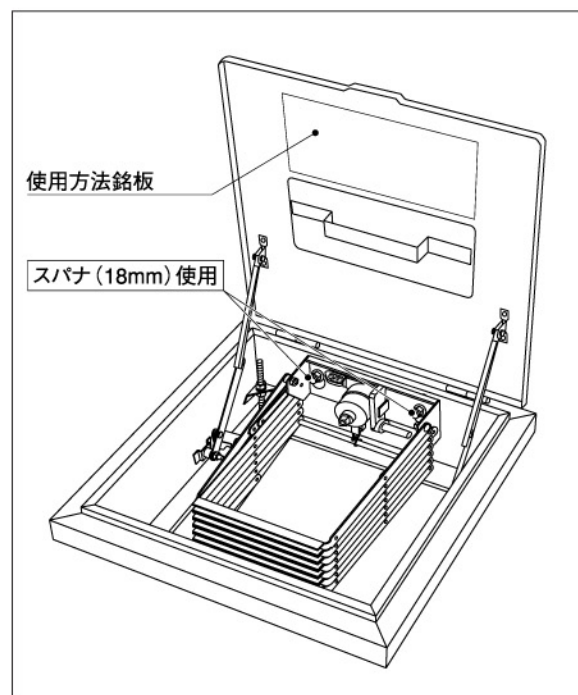
改修用レクスター RKB型の取付方法

6 はしごの取り付け (施工例 P23・「14」を参照)

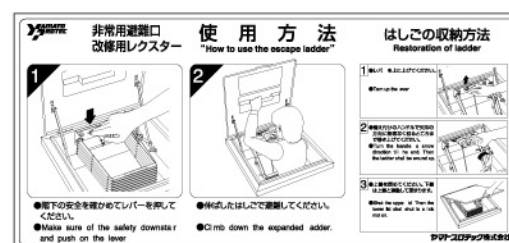


●はしごを、はしご取付用ボルトに合わせてはめ込み、ボルトに付いているナットを締め付けて固定してください。

▲ 注意 ●ナット (M12) の締め付けトルクは 53N・m (540kgf・cm) です。

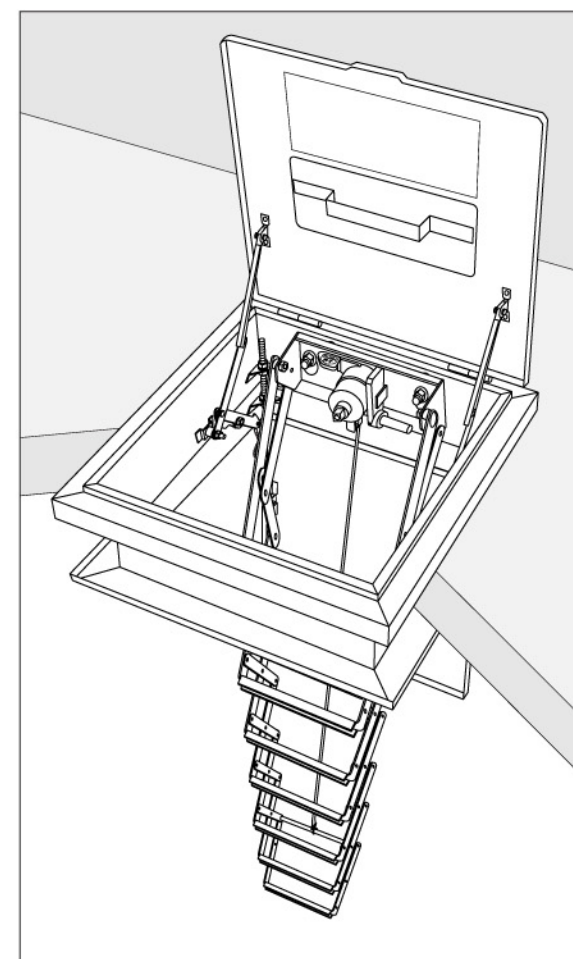


●はしご取り付け作業終了後、使用方法ラベルを上蓋内面に貼ってください。



使用方法ラベル (上蓋内面貼付用)

7 はしご及び各部の点検



●はしごの展張や巻き上げ状態及び上下蓋の開閉等、各部の点検を実施してください。

点検事項

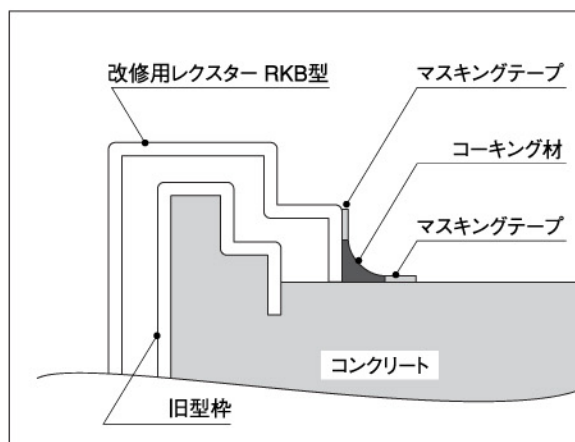
- 1・はしごの降下状態
- 2・はしごの巻き上げ状態
- 3・上蓋・下蓋の開閉状態
- 4・ボルト・ナットの締め付け状態
- 5・ラベルを貼付しているか確認してください。

▲ 注意

- はしごが伸びきっていることを確認してください。
※はしごが完全に伸びきっていない状態で巻き上げると巻き上げ用ワイヤーがからまり、故障の原因となります。
- はしごの巻き上げ不十分で蓋を閉めないでください。
※蓋を閉めたときに、はしごが邪魔をして閉まらなくなり、ケース・はしごが壊れる原因となります。

改修用レクスター RKB型の取付方法

8 防水処理 (施工例 P23・「15」を参照)



- コーキング用プライマーを塗ってください。
※上枠及び本体に汚れが付いている場合は、溶剤にて清掃してから作業してください。
※コーキング面が濡れている場合は下記注意を参照してください。

- 1・プライマーの余分な付着を防止するため、上枠の側面及び本体にマス킹テープを貼ってください。
- 2・コーキング注入部にプライマーをハケ塗りしてください。

⚠ 注意

- プライマーは、コンクリート表面が乾いている状態で塗ってください。(濡れている際はトーチランプで乾燥させてください)
- 塗りムラ・塗り残し等ないように均一に塗ってください。
- プライマーは、塗った表面にベタ付きがなくなるまで乾かしてください。

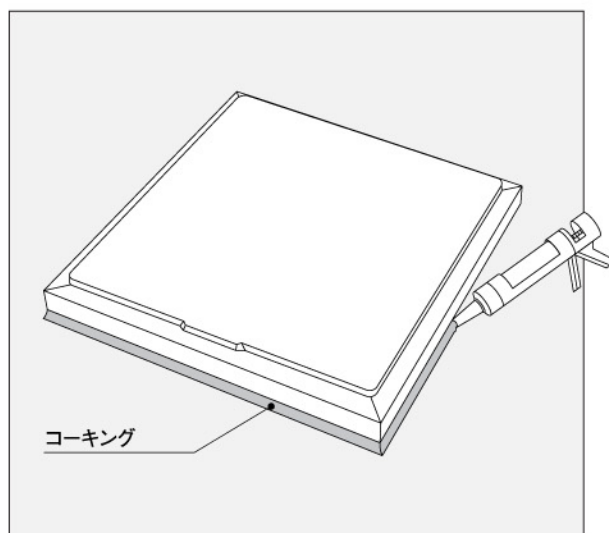
- コーキング材を充てんしてください。
※上蓋と本体の間の目地底にカートリッジのノズルの先を押しつけるようにして隅々まで完全に充てんしてください。

⚠ 注意

- 旧コーキング材を除去した溝に、雨水等がたまらないように注意してコーキング材を充てんしてください。

- 仕上げ処理をしてください。

- 1・ヘラ仕上げを行い余分なコーキングの除去及び、水のたまるへこみ等ができないように処理してください。
※コーキングの硬化が速いので充てん後はできる限り短時間で仕上げを行ってください。
- 2・ヘラ仕上げ完了後、ただちにマス킹テープを取り去ってください。



9 清掃

- ハッチ内の切粉等を除去してください。
- ハッチの汚れ(コーキング・塗装等)は溶剤等で除去してください。
- 作業場の周辺及び階段下の壁・床の切粉を清掃してください。
- 作業に際し、移動したものを元の位置に戻してください。

⚠ 注意

- 切断物・梱包材・ゴミ等は必ずゴミ袋に入れて持ち帰ってください。

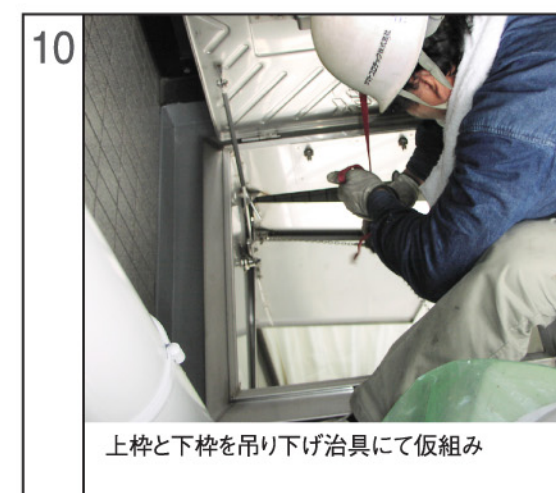
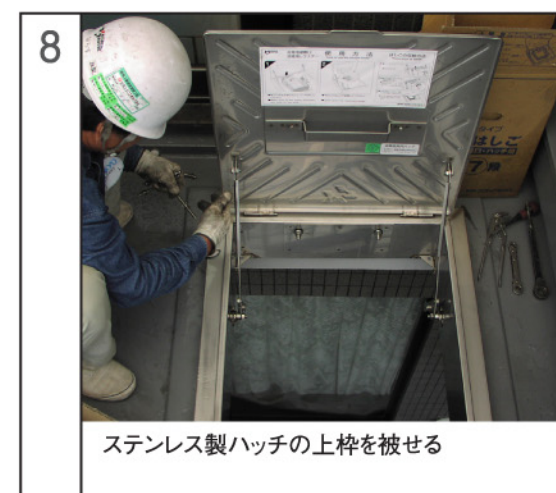
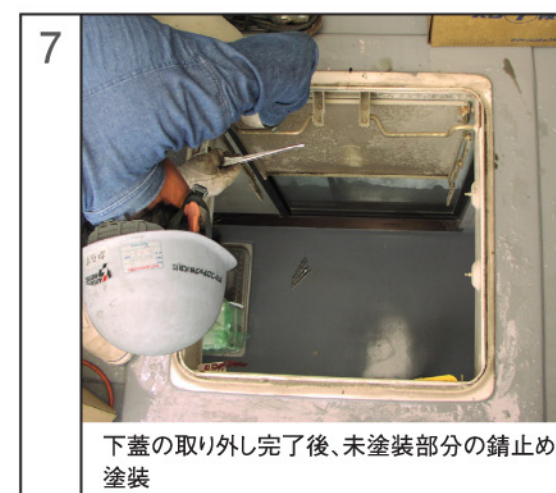
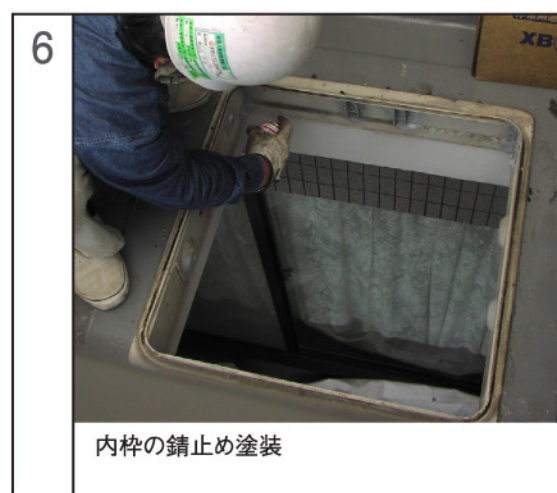
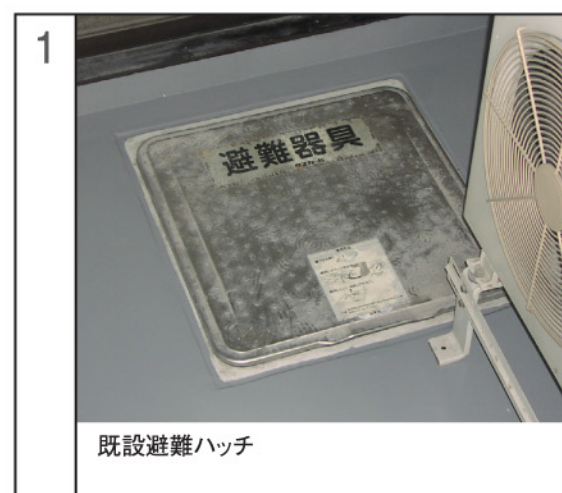


- 全ての作業終了後、「避難はしご」ラベルを上蓋表面に貼ってください。



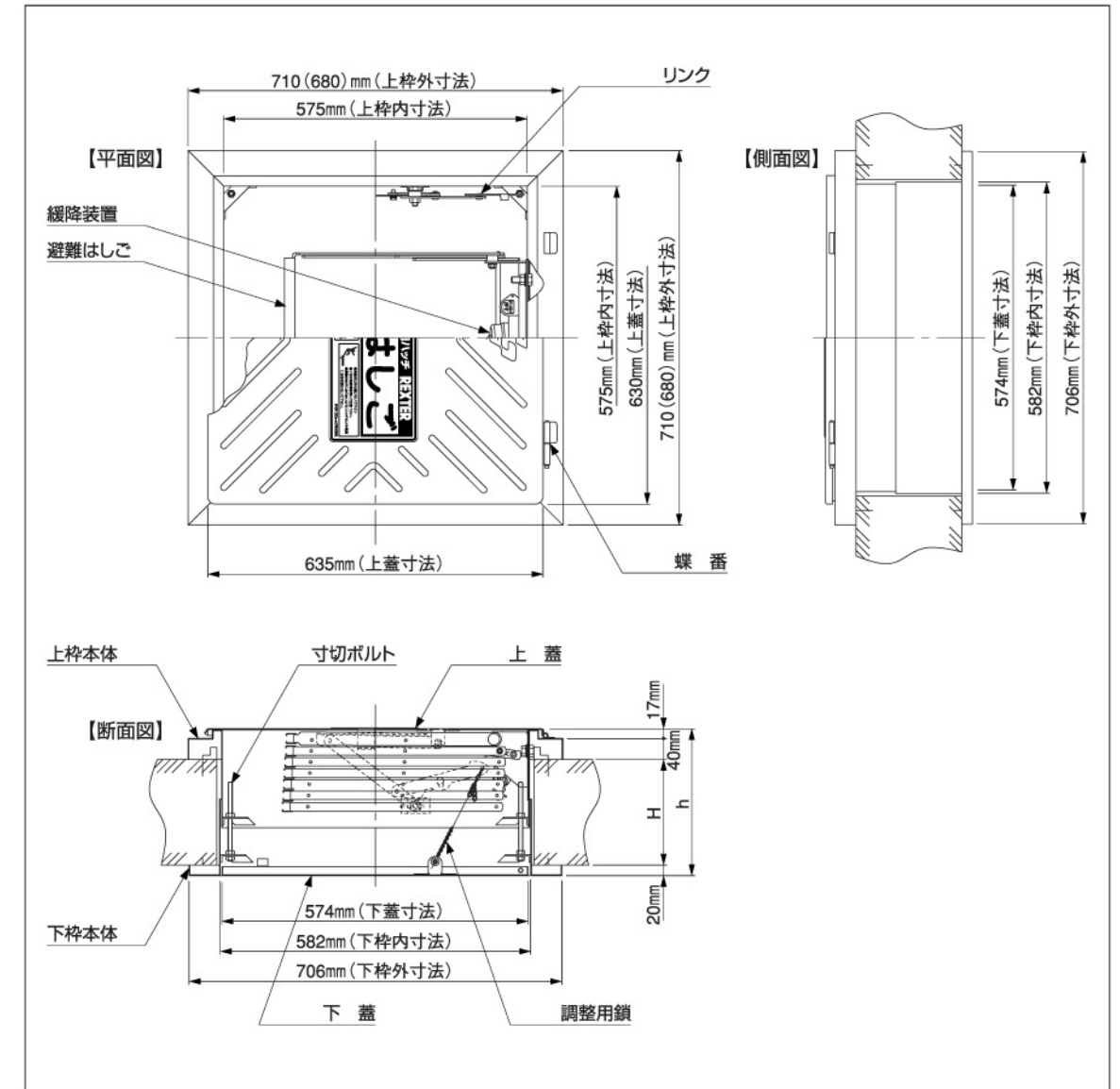
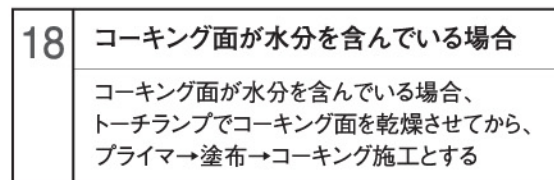
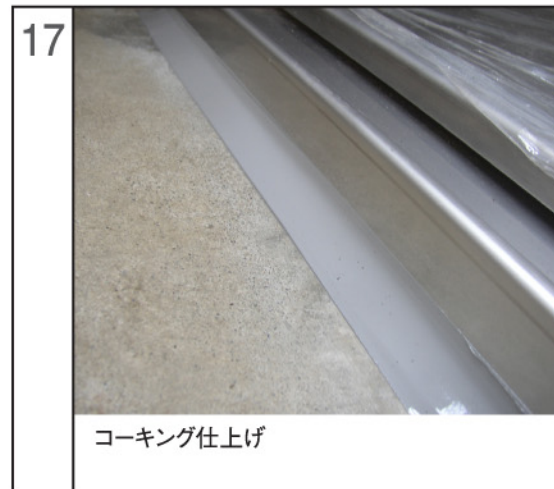
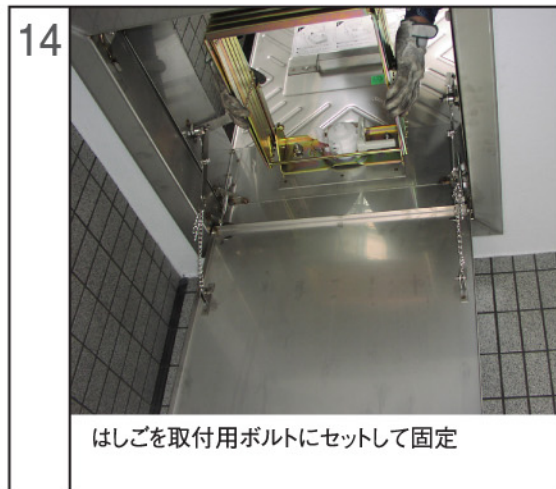
「避難はしご」ラベル (上蓋表面貼付用)

取付要領施工例



取付要領施工例

構造図



(単位:mm)						
枠(型名)	はしご(型名)	はしご全長	床厚(H)	枠厚(h)	適応階高	内寸
RKB	RH-6XB	2,120	150	227	2,090~2,500	575×575
	RH-7XB	2,463			2,440~2,830	
	RH-8XB	2,806			2,790~3,180	
	RH-9XB	3,149	250	327	3,130~3,520	
	RH-10XB	3,492			3,480~3,860	
	RH-11XB	3,835			3,820~4,190	
	RH-12XB	4,178			4,160~4,530	

(注)
左記の床厚は下図に示した通りです。ハッチの厚さと間違えないでください。